

新着図書からおすすめの5冊

(平成23年9月13日掲載)

貸出と予約の開始は**9月13日(火曜日)**、インターネット予約の開始は**9月20日(火曜日)**です。

『世界を知る101冊』

海部 宣男 著

岩波書店 刊

科学とはどのようにして付き合っていたらよいのか。書評家としても名高い天文学者が読書案内で答える。『毎日新聞』日曜日紙面の「今週の本棚」連載をもとに書籍化。

著者紹介：1943年生まれ。東京大学教養学部基礎科学科卒業。放送大学教授、国立天文台名誉教授。著書に「銀河から宇宙へ」「宇宙のキーワード」など。

請求記号：404/Ka,21

『すごい実験』

多田 将 著

イースト・プレス 刊

この世でもっとも巨大な装置で、この世でもっとも小さな物質をつかまえる。深遠な宇宙の謎に挑む壮大なプロジェクト「T2K」とは？ 難解な素粒子物理学をわかりやすく解説。中央大学杉並高等学校での授業をもとに書籍化。

著者紹介：1970年大阪府生まれ。京都大学理学研究科博士課程修了。高エネルギー加速器研究機構・素粒子原子核研究所助教。

請求記号：429.6/Ta,16

『人を助けるへんな細菌すごい細菌』

中西 貴之 著

技術評論社 刊

天空高く飛びまわり、地中深くにひっそり潜伏。モノづくりがやたら上手で、めちゃくちゃピンチに陥ったときは、遺伝子チェンジでパワーアップ。大抵のコトは即解決してしまう、そんなスゴイ細菌の利用法を紹介。

著者紹介：1965年山口県生まれ。山口大学大学院応用微生物学修了。総合化学メーカー宇部興産株式会社研究開発本部勤務。日本質量分析学会等会員。著書に「最新科学おもしろ雑学帖」がある。

請求記号：465.8 /N,38

『グラウンド・ゼロから』

ジョアン・オクマン 著

鹿島出版会 刊

リスボン大地震、シカゴ大火、ヒロシマの原爆投下、エルサレムの遺跡破壊、そしてニューヨーク…。地震、原子爆弾、民族自決、宗教対立を同一の地平で語る、世界的大都市の破壊と再生をめぐる9のケーススタディ。

著者紹介：コロンビア大学のテンプル・ホイン・ブエル・アメリカ建築研究センター長。同大学で建築史と建築理論を教える。

請求記号：518.8/G,95

『日本語は人間をどう見ているか』

梶山 洋介 著

研究社 刊

本来は「人間以外のもの」に関する表現が、「人間(の営み)」について述べるのに用いられる表現の仕方に注目し、日本語を考察。いろいろな表現を楽しみながら、日本語の新しい見方を知るための一冊。著者紹介：1961年東京生まれ。東京大学大学院人文科学研究科博士課程中退。名古屋工業大学講師などを経て、名古屋大学教授。著書に「認知意味論のしくみ」など。

請求記号：816.2/Mo,24

※本の内容紹介は、図書館流通センター(TRC) MARCより引用しました。

[バックナンバーはこちら](#)

[新着図書の一覧はこちら](#)

[インターネット予約・貸出についてはこちら](#)

[資料紹介へ戻る](#)

[佐賀県立図書館のトップページへ](#)